

ホテルシップ

ホテルシップとは？

ホテルシップとは、クルーズ船などの船舶を一定期港湾に停泊させて宿泊施設として活用するものです。

ホテルシップ自体は、国際的には珍しいものではなく、代表的な事例として、過去のオリンピック・パラリンピック大会での活用が挙げられます。

また、国内では、事例としては少ないものの、過去の東京オリンピック大会（1964年）や、横浜博覧会（1989年）等での活用がありました。しかし、当時の法令等の適用に関する整理が後世に残されなかったこと、また、既に当時から約30年以上が経過しているため法令等自体に変化が生じていることから、ホテルシップ実施における法令等の適用と運用の整理が必要となっていました。

国土交通省における

ホテルシップに関する取り組み

過去のオリンピックにおいても実施された事例があるように、ホテルシップは、2020年の東京

オリンピック・パラリンピック大会開催時に、東京及びその周辺地域における宿泊施設の供給を十分に確保する一つの方策として、有効な手段になると考えられます。

そのため、国土交通省港湾局では、平成29年6月、内閣官房と共同で、関係行政機関、関係地方公共団体、船社等からなる「クルーズ船のホテルとしての活用に関する分科会」を設置し、検討を進め、平成30年3月の分科会において、ホテルシップを行う場合の旅業法や出入国管理及び難民認定法等の規制の運用についての整理を行い、関係行政機関により必要な制度改正を行うことを確認しました。

今後も、関係機関と連携して、クルーズ船を宿泊施設として活用するために必要となる基礎的な確認事項をガイドラインとしてとりまとめ、2018年度を目途に公表するなど、ホテルシップの利用に向けた環境整備に取り組み、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会のレガシーにしていきます。



図 横浜博覧会（1989）時のホテルシップ（横浜港 クイーン・エリザベス2）

	港名	船名	トン数 (t)	乗客定員 (人)	実施期間
リオ・オリンピック (2016年8月5日～21日 (17日間))	リオデジャネイロ港	ノルウェージャン・ゲッタウェイ	145,000	4,000	8月6日～24日 (19日間)
		シルバークラウド	16,000	220	8月9日～25日 (17日間)
ソチ・オリンピック (2014年2月7日～23日 (17日間))	ソチ港	ノルウェージャン・ジェイド	94,000	2,402	2月2日～25日 (24日間)
		グランド・ホリディ	46,000	1,794	2月4日～25日 (22日間)
		ルイス・オリンピア	37,000	1,504	2月2日～25日 (24日間)
		トムソン・スピリット	34,000	1,254	1月29日～2月26日 (29日間)
ロンドン・オリンピック (2012年7月27日～8月12日 (17日間))	ロンドン港	ブレーマー	24,000	987	7月12日～8月14日 (34日間)
		ドイチュラント	22,000	552	7月24日～8月15日 (23日間)
		ジェミナイ	19,000	1,074	7月11日～8月16日 (37日間)
バンクーバー・オリンピック (2010年2月12日～2月28日 (17日間))	バンクーバー港	オーステルダム	82,000	1,916	1月31日～3月5日 (34日間)
		カーニバル・イレーション	70,000	2,052	1月28日～3月6日 (38日間)
		スタテンダム	55,000	1,266	1月31日～3月8日 (37日間)

表 過去のオリンピック・パラリンピックにおける主なホテルシップの活用事例